

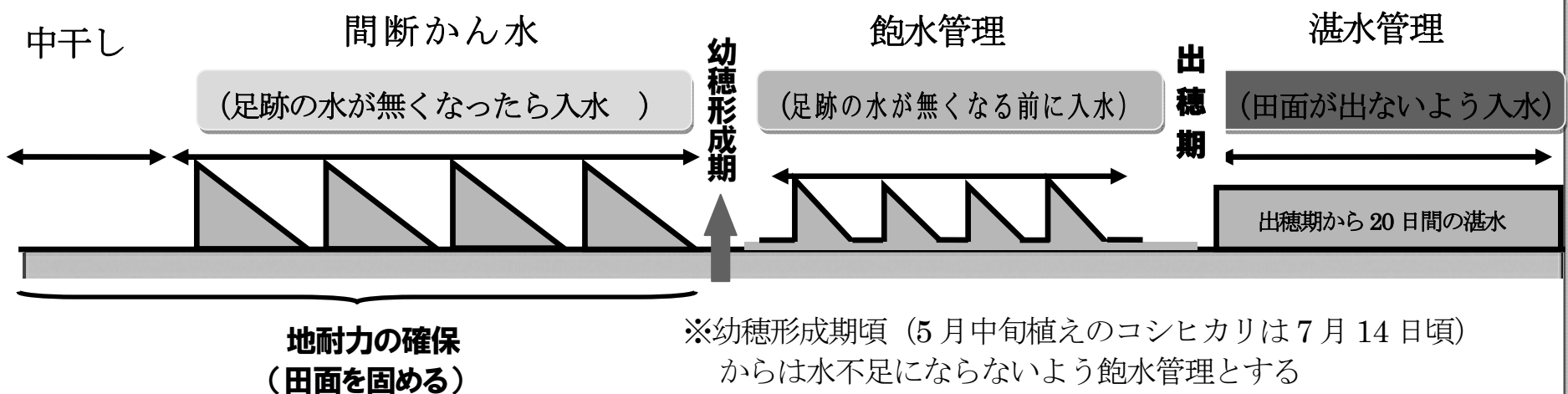
# 水稻情報 (第4号)

平成 30 年 6 月 27 日  
あおば農業協同組合  
各地区農業技術者協議会

○水稻の生育は良好となっており、葉色はやや濃くなっています。

- \*中干し後の水管理は、「**間断かん水**」、「**飽水管理**」により、**稲の活力を維持する。**
- \***畦畔や雑草地の草刈りを徹底し、斑点米の原因となるカメムシ類の発生を抑える。**

## 1. 中干し後の水管理 ~「間断かん水」のち「**飽水管理**」とする!~



- 中干しが不十分なほ場については、繰り返し田干しを実施しましょう。てんたかくは6月末頃まで、コシヒカリは7月10日頃までに足跡の深さ3cm程度になるよう地固めしましょう。
- 幼穂形成期以降は飽水管理とし、強い田干しはしない。(飽水管理は「ほ場に入水→自然減水→足跡の水が無くなる前に入水」を繰り返す水管理です。)
- ※ただし、「富富富」は中干し後～出穂期まで間断かん水を継続します。
- 出穂後20日間は湛水管理となります。

## 2. 「てんたかく」の穂肥と葉色 ~穂揃期の葉色は4.5に誘導する!~

### ○基肥一発肥料の場合

基肥一発肥料を施用したほ場であっても、幼穂形成期前後 (6/28頃) に葉色が 4.2 程度にまで低下した場合は、追肥化成 3 号で 10kg/10a (N 成分: 1.5kg/10a) 程度の追肥を早急に行い、穂揃期の葉色を 4.5 に誘導する。

### ○分施の場合 …追肥化成 3 号の施用時期及び施用量の目安 (5月上旬植えの場合)

穂揃期の葉色を 4.5 に誘導するために、穂肥は遅れずに施用する。

分施体系	回数	1 回目	2 回目
	施用時期	6/28 頃 [幼穂長 1~2mm]	1 回目の 10 日後
	施用量	10a 当たり 12~13kg	10a 当たり 12~13kg

コシヒカリ、てんこもりの穂肥については次号でお知らせします

## 3. ケイ酸の補給 ~ケイ酸を補給して稲体を丈夫に!~

○入水後、7月5日頃までに下記のいずれかの資材を施用し、稲体の活力を向上させましょう。

- ・PK けい酸 (20kg/10a) ・エスアイ加里特号 (15kg/10a)
- ・エスアイ加里カリ投げくん 4kg/10a (200g×20 パック)

※ JA あおばのおすすめ資材です。(5cm以上の湛水状態で水田に投げ入れるだけの簡単散布)

### ケイ酸の効果

- ①根の活力を高める
- ②フェーン時に水分の蒸散を防ぐ
- ③茎葉を丈夫にし倒伏を防ぐ
- ④受光態勢を良くし登熟を高める

栽培履歴の記帳とGAPの実践を!!

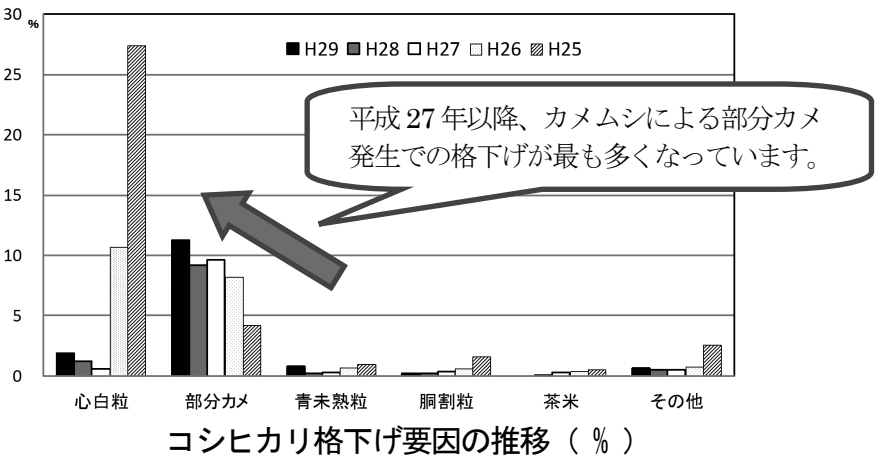
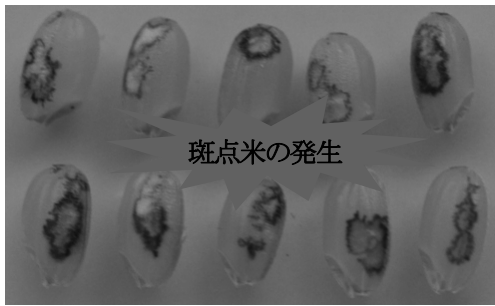
うら面に続く

# カメムシ対策 第4回

草刈運動期間 7月1日～7月10日 一斉草刈日 7月7日(土)～8日(日)

## 1. 草刈りの徹底

～毎年、米の等級格下げの主要因はカメムシによる斑点米の発生です。



アカヒゲホソミド アカスジカスミカメ トゲシラホシカメムシリカスミカメ  
※各カメ虫とも拡大した画像となっています。



カメムシ類が好む主なイネ科雑草 (左: ナギナタガヤ 右: メヒシバ)

(主な斑点米カメムシ類)

◎カメムシによる斑点米被害を防ぐには⇒畦畔等の草刈りの励行と基本防除が不可欠です。また、ほ場内にノビエやホタルイが残っていると被害を助長しますので抜き取り等も行いましょう。

### ①草刈りの方法

- ・斑点米の発生防止のため、カメムシ類の発生源となる畦畔や水田周辺の雑草地の草刈りを徹底し、一斉草刈り後も雑草の穂が出ないように草刈りを継続しましょう。
- ・大麦跡に作物の作付けを行っていない場合は、雑草等が繁茂しないように7/10頃まで耕起しましょう。

### ②安全な草刈り作業

- ・草刈り作業の際は防護具を装着し、小石等の飛散からの被害を防止しましょう。
- ・高い畦畔では途中で小道をつけるなどし、足元をしっかりと確保しましょう。
- ・1時間に1回は5分以上の休憩を取り、水分補給も十分行いましょう。



## 2. 追加防除等

一斉防除については、次号でお知らせします

○追加防除が必要とされるほ場は次のとおりです。

- ① てんたかくで紋枯剤が含まれていない箱粒剤を施用した場合  
防除時期：7月3日頃  
防除薬剤：「モンカットファイン粉剤20DL(4kg/10a)」  
又は「バシタックゾル(1000倍、100～1500 /10a)」  
※基本のルーチンエキスパート箱粒剤を施用している場合は不要
- ② 住宅地など粉剤散布が困難なほ場での粒剤体系による防除  
防除時期：てんたかく 7月14日頃  
                  コシヒカリ 7月26日頃  
防除薬剤：イモチエースクラブ粒剤 (3kg/10a)

やや深めの湛水状態で散布。散布後7日間は落水やかけ流しをしない

水稻情報第5号の発行日は7月11日(予定)